



堺市社会福祉事業団だより

Vol.62

特集「もず診療所・つぼみ診療所のリハビリテーション」	1・2
事業団NEWS1 令和8年度 スタートしました	3
堺市立健康福祉プラザNEWS 春のプラザまつり／学習懇談会	4
児童発達支援センター保護者アンケート	5
事業団NEWS2 もず園見学会／理事会・評議員会を開催しました	6

令和8年(2026年)7月
発行：社会福祉法人
堺市社会福祉事業団
TEL：072-299-2031
FAX：072-299-2100

特集 もず診療所・つぼみ診療所の リハビリテーション

もず診療所・つぼみ診療所では、理学療法（PT）、作業療法（OT）、言語聴覚療法（ST）の3つのリハビリテーションをおこなっています。

もず診療所・つぼみ診療所でおこなわれるリハビリテーションは、一般的にリハビリテーションと聞いてイメージされるような「訓練」「練習」の場ではなく、こどもたちのやってみたいという思いやこどもたちへの保護者のみなさまの願いをお聞きしながら、こどもたちの興味に沿ったあそびを介して関わります。また、リハビリテーションの時間における関わりだけでなく、ご家庭や所属されている園など、こどもたちが普段過ごしている生活の場でどんな工夫ができるか、保護者のみなさまと相談しながら、こどもたちに合った支援を一緒に創っていくところも特徴の1つになります。

理学療法(PT)

理学療法では、体を動かすあそびを通して「楽しい」気持ちや「できた」達成感と成功体験を積み重ね、主体性や自信を育むことを大切にしています。

運動発達がゆっくり、姿勢を保ったり体を動かしたりすることが難しい、運動が苦手など、姿勢、運動面へのサポートが必要なこどもたちを対象に、一人ひとりの発達に合わせた支援をおこなっています。また、器具の調整など環境整備を通して、こどもたちやご家族の生活がより豊かになることをめざしています。



◆つぼみ園・もず園で児童発達支援センター・もず診療所・つぼみ診療所の利用および発達や療育の相談を受け付けています。

相談・申込窓口のご案内	つぼみ園	TEL.072-299-2031	FAX.072-299-2100
	もず園	TEL.072-279-0500	FAX.072-270-2126

作業療法(OT)

作業療法では、あそびや日常生活の活動を通して、こどもたち一人ひとりの「できた!」を大切に支援しています。

手先の使い方、姿勢や体の動かし方、気持ちの切り替えや集中など、発達段階や特性に合わせたかかわりをおこなっています。こどもたちが安心して楽しく過ごし、自信をもって生活できるよう、保護者のみなさまと一緒に成長を見守っていきます。



言語聴覚療法(ST)

言語聴覚療法では、こどもたちがさまざまな生活経験を通して、コミュニケーションやことばの力を育み、「わかった!」「伝わった!」と実感しながら力を発揮できることを大切にしています。そのために基本的な力として、主に食べるための口の動き、あそび、やりとりの力、ことばの力、発音などについてアプローチし、こどもたちに合ったサポートをおこなっています。こどもたちにとっては楽しいあそびややりとりの中で自信を持っていけるように、また保護者のみなさまがこどもたちの理解を深め、安定した親子関係が築けるように、取り組んでいます。



令和8年度 スタートしました

もず園、つばみ園では4月6日（月）入園式に新しいお友だちと保護者のみなさまを迎え、新しいスタートをきりました。

はじめての園生活にドキドキしていた新入園のこどもたち、クラス替えでお部屋や先生、お友だちが変わって戸惑っていたこどもたちも、少しずつ生活になれてきました。

お外あそび、おえかき、寒天あそび、ボールプール、給食、園外保育などいろいろなことを経験し、生き生

きた笑顔が増えてきました。これからいろいろなあそびをする中で、「たのしい!」「できた!」をいっぱい感じ、お友だちや先生の楽しい雰囲気にならなう!」「わたしも!」と“楽しい”がひろがっていくよう関わっていきます。

夏のつどいやお楽しみ会、運動会などの親子行事、年長児さんのわくわく保育と行事も盛りだくさんです!

一年間の成長を保護者のみなさまと職員とで分かち合いたいと思います。



毎日クラス、並行通園クラス（おひさま、つばさ）、ぺんぎんクラス、ひよこクラスについて、空き状況によって、随時募集しております!!お気軽に各園にご相談ください。

10月からは、来年度の入園申し込みが始まります。広報、ホームページをご覧ください。

春のプラザ祭り

4月18日(土) 堺市立健康福祉プラザで「春のプラザ祭り」を開催し、お天気も良く766名の方々にご来館いただきました。

今回は開催史上初、堺のゆるキャラ「サカエル&みそさかい・ニッシーちゃん・みみちゃん」が駆けつけてくれて、ご来館のみなさまと楽しいひと時を過ごしてくれました。

また、気軽に障害のことを理解できるコーナーをたくさん開催しました。



バリアフリー映画「梅切らぬバカ」の上映。車いすバスケットボール・車いすハンドボール体験、手話での絵本の読み聞かせ、点字体験、春の脳トレチャレンジなどには、たくさんの人にお立ち寄りいただき、楽しんでいただきました。

また、点字図書館が分かる！体験、点字名刺体験、ミニ手話教室、筆談体験、聴覚サポート機器展、まちライブラリー「ひといき」、ミニバスケットを作ろう、お遊びコーナー、パッセ販売会、日用品バザー、減農薬野菜販売、焼きたてパン販売、キッチンカーと屋台など、多くのイベントで春の季節を彩り、ご来館のみなさまに春のプラザ祭りを楽しんでいただきました。

学習懇談会

生活リハビリテーションセンターでは、毎年、訓練の利用終了者と現利用者、ご家族同士の交流や情報交換を目的とした「学習懇談会」を年4回開催しています。

今年度、第1回目となる学習懇談会を5月17日(日)に開催しました。当日は当事者様・ご家族を合わせて18名のみなさまにご参加いただきました。

前半は、注意力や記憶力、段取りを考える力などを取り入れたレクリエーションを実施しました。「30秒・60秒など一定の時間に合わせて、チーム内で作戦を立てながらボールを回すゲーム」や「間違い探し」などをチーム対抗で行い、ゲームが進むにつれて自然と会話や声かけが増え、チームの団結も深まっている様子が見られました。

参加者からは、「ちゃんと数えているつもりだけど実際の時間とはずいぶん違うんですね」「どこが変わったのかわからない。難しいな」など、様々な感想がありました。

後半は、当事者様とご家族に分かれて交流会をおこないました。当事者様のグループでは、「自身のストレス発散方法」や「今後チャレンジしてみたいこと」などをテーマに意見交換をおこないました。ストレス発散方法では「姪っ子と遊ぶこと」「休日に

トレーニング室で汗を流すこと」など、多くの話題があがりました。また、最近取り組んでいることとして、それぞれが自分の活動を紹介する中で、ご自身の描かれたイラストの写真をスマートフォンで見せると「すごい！」と歓声があがる場面もありました。

ご家族の交流会では、親や配偶者などそれぞれの立場からのお話をいただきました。立場は異なっているも、日常生活での困りごとや対応方法について共感できる場面も多く、何度も頷き合う様子がみられました。

今後も、当事者様・ご家族の双方が交流し、安心して情報交換できる機会を提供していきます。



令和7年度保護者アンケートの集計結果

A よくあてはまる B あてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない E わからない F 無回答

		つぼみ園(102人) (人)						もず園(183人) (人)					
		A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F
環境・体制整備	1. こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	64	36	1	1	0	0	147	35	0	0	0	1
	2. 職員の配置数は適切であると思いますか。	58	38	3	2	1	0	131	41	5	1	4	1
	3. 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	59	35	6	0	2	0	142	34	1	0	5	1
	4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	64	28	8	1	1	0	147	33	0	1	1	1
適切な支援の提供	5. こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	65	33	1	0	2	1	120	57	3	0	2	1
	6. 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	51	44	0	0	7	0	115	58	1	0	8	1
	7. こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	64	33	3	0	2	0	125	53	0	0	4	1
	8. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	51	44	6	0	1	0	108	59	1	0	14	1
	9. 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	57	39	3	0	3	0	113	60	5	0	4	1
	10. 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	55	41	2	0	4	0	103	59	4	1	15	1
	11. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	34	33	14	11	10	0	59	35	34	17	36	2
保護者への説明等	12. 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	61	39	0	0	2	0	126	47	5	0	4	1
	13. 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	66	32	0	1	2	1	125	47	5	1	4	1
	14. 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	43	35	10	3	11	0	112	57	8	0	5	1
	15. 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	65	28	5	1	3	0	123	54	2	0	3	1
	16. 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	67	28	5	1	1	0	127	51	1	1	2	1
保護者への説明等	17. 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	61	32	1	0	3	5	126	47	2	0	3	5
	18. 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	28	37	15	4	14	4	53	47	30	10	37	6
	19. こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	45	37	7	1	8	4	104	57	4	1	12	5
	20. こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	55	37	3	1	2	4	113	61	0	1	3	5
	21. 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	29	32	14	4	18	5	60	56	12	0	49	6
	22. 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	59	35	1	0	3	4	129	37	1	0	11	5
非常時等の対応	23. 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	43	33	3	1	16	6	101	52	2	0	22	6
	24. 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	39	32	1	1	25	4	91	38	8	1	40	5
	25. 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	51	36	0	1	10	4	108	54	1	0	15	5
	26. 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	46	30	2	2	18	4	116	40	1	0	21	5
満足度	27. こどもは安心感をもって通所していますか。	85	12	0	1	0	4	154	23	1	0	0	5
	28. こどもは通所を楽しみにしていますか。	79	16	0	2	1	4	145	26	4	0	3	5
	29. 事業所の支援に満足していますか。	65	27	2	1	3	4	130	45	2	0	1	5

また、令和8年1月1日現在、児童発達支援センターに在籍している児童の保護者のみなさまを対象とした利用者アンケートを実施しました。令和6年度に回答の選択肢を変更しましたが、より幅広い選択肢を作るという意味で、回答の選択肢は「(A) よくあてはまる」「(B) あてはまる」「(C) あまりあてはまらない」「(D) あてはまらない」「(E) わからない」「(F) 無回答」の6つに変更し、目標の達成状況における『利用者の満足度』においても、従来通りの(A) + (B)の割合に戻しました。

アンケートの回収率は86%であり、全回答数のうち「(A) よくあてはまる」+「(B) あてはまる」の割合が87%で目標値を超えました。評価を委託した第三者からは『「専門性の高い個別支援」、「子どもの安心感と通所意欲」、「保護者との日常的なコミュニケーション」について高い評価を得ており、事業の基幹部分は安定していると見受けられる。一方で、「地域交流機会の創出」、「家族・きょうだい支援」、「情報発信」、「防災の見える化」といった「園外への目線」や「保護者から見た分かりやすさ」には、共通した課題も見えて取れる。』といった意見を得ています。

これらの意見を踏まえ、地域交流やきょうだい支援については実施可能な方法を模索していきます。特に週1クラス、並行通園クラスについては保護者のみなさまにより伝わりやすい発信の仕方を検討していきます。今後いただいたご意見やアンケートの結果をもとに、引き続き質の高い療育を提供していくとともに、ご利用のみなさまのご要望に応えていきたいと考えています。

もず園見学会

3月4日(水) 基幹相談支援センターと保健センターを対象に、もず園の見学会を南北共催で実施しました。両センターからもず園・つぼみ園の療育やあいすてーしょんの紹介をしていただくことが多いので、実際に見て、知っていただくことを



目的としておこないました。また、保護者の方から発達や子育てのことでご相談があった後、療育につながるまでの流れやご紹介いただいた場合の情報共有の仕方など、よりスムーズな連携となるようお互いを知る貴重な機会となりました。



理事会・評議員会を開催しました

6月1日(月)に理事会を、6月26日(金)に評議員会をそれぞれおこないました。



令和7年度の事業報告・決算書について議決をいただきました。



編／集／後／記

今回は、もず診療所・つぼみ診療所でのリハビリについてご紹介しました。少しでも当センターでのリハビリでしていることをイメージしていただけたらと思います。また、プラザからは学習懇談会や交流会、春のプラザ祭りでの盛り上がった様子をお伝えしています。記事を通して市民の方にも理解を深めていただけると幸いです。(もず園 参事)

社会福祉法人 堺市社会福祉事業団

堺市立南こどもリハビリテーションセンター
つぼみ園 TEL 072-299-2031
FAX 072-299-2100
つぼみ診療所 TEL 072-294-7941
相談支援室 つぼみ TEL 072-294-7944
事業団事務局(南リハ内) TEL 072-294-7942
FAX 072-298-2032

堺市立北こどもリハビリテーションセンター
もず園 TEL 072-279-0500
FAX 072-270-2126
もず診療所 TEL 072-279-3768
相談支援室 もず TEL 072-279-3668

堺市立健康福祉プラザ
市民交流センター TEL 072-275-5017
FAX 072-243-0330
授産活動支援センター TEL 072-275-5018
FAX 072-243-0330
生活リハビリテーションセンター TEL 072-275-5019
FAX 072-243-0202

堺市立健康福祉プラザは『社会福祉法人堺市社会福祉事業団』『特定非営利活動法人堺障害者団体連合会』『公益財団法人フィットネス21事業団』の共同事業体が、指定管理者となって管理・運営を行っています。